

第3次行財政改革大綱及び実施計画の策定に向けたご意見について
～ 第1回・第2回審議会のご意見から ～

1. 行財政改革の取組全般に関するご意見

項目	ご意見の内容
財政健全化指標	○財政健全化指標の数値は高いものの改善傾向にあり、行財政改革の取組の成果が出ているのではないか。 ○行財政改革を進めるうえで、財政健全化指標などの目標値をどう設定するか。(類似団体等の状況なども参考に)
建設事業の予算執行	○建設事業において、執行の段階で事業費が増加する場合があると思われるので、積算から執行までの管理を十分に注意する必要があるのではないか。
市民等の理解	○行財政改革の取組は、市民生活や地域活動等へ影響があるため、市民の声や地域の意見などを十分に聞きながら進めていく必要がある。
大綱及び実施計画への取組内容の記載方法	○財政効果額が前面に出ると、何かを止めたり縮減したりしたことばかりが記載されるため、業務改善することで市民の利便性が向上したことなどを丁寧に記載し、誤解が生じないようにする必要がある。

2. 大綱(案)に関するご意見

大項目	中項目	ご意見の内容
(1)効率的・効果的な行財政運営	①適正な事務事業の実施	○民間委託等の活用(アウトソーシング)にあたっては、経費節減の視点は重要であるが、地域活性化のための視点も必要ではないか。
	③DXの推進による業務の効率化	○市がめざす将来像が分かると理解しやすい。 ○DXの取組は効果を把握することが難しい(見えにくい)ため、できる限り見える化をするべき。 ○DXの取組を行う意義について記載をする必要がある。(市民の利便性向上と職員の業務効率化の視点) ○職員によるアプリ開発を含めた業務の効率化など、新しい視点の取組を推進してほしい。 ○DXの取組によって削減された時間等をどのように振り分けていくのか検討が必要。 ⇒ ①相談業務の充実や現場に出かけて住民と意見交換をする機会の増などの市民サービスの向上 ②時間外勤務の縮減などによる経費の節減 ※取組の結果、業務量が減った部署がある場合は、組織全体のなかで人員を調整
(2)公共施設のあり方と管理運営	②公共施設の管理運営	○利用促進の視点は大切であるので、「公共施設の利用促進と管理運営」の見出しとしてはどうか。
(3)組織体制の充実と人材育成	①時代の変化に適応する組織・機構	○重点施策推進のために部署を新設することは重要であると思うが、ただ部署を増やして細分化するだけでなく、必要に応じて統廃合を行い、全体としてバランスをとる必要があるのではないか。
	②人材育成と働きやすい職場環境	○現地に赴き市民や地域の意見を聞き、施策へどう反映していくかを考え、創造的に仕事をしていくような職員の育成が必要となっている。 ○人材交流を行うことにより職員の資質向上と組織の活性化が図れる。 ○人材確保の視点が必要ではないか。 ○働きやすい職場環境の整備のためには、職員からの意見聴取が必要である。(特に子育て世代などの若手職員からの意見) ○「定年延長後も高いモチベーションを持った働き方の推進」の項目については、対象者が絞り込まれており、記載に工夫が必要ではないか。
(4)財源の確保と債務の抑制	②財源の確保	○市や土地開発公社などが所有する遊休地の処分を進めていく必要があるのではないか。

3. 個別の取組項目(個別の事務事業等)に関するご意見

大項目	中項目	ご意見の内容
(4)財源の確保と債務の抑制	②財源の確保	○ふるさと納税は、目標額と実績額に乖離が生じているので、目標額の設定に検討が必要ではないか。